



教育目標：自立 敬愛 精励
 ようがの学び舎 舎訓 責任 信頼 誇り



用賀中だより

～生徒が主人公である学校、地域と共に歩む学校～

学校だより3月号 令和8年 3月吉日
 ようがの学び舎 世田谷区立用賀中学校
 校長 毛利 慎治

(スマホでも読みやすくなるようレイアウトを試行しています)

人の心の痛みが分かる人間として

一「向き合う・関わる・聞く」を、毎日の当たり前に一
 ようがの学び舎 世田谷区立用賀中学校

校長 毛利 慎治

校庭の空気が少しやわらぎ、朝の登校路にも春の気配を感じる頃となりました。体育館からは、卒業式に向けた歌声や呼びかけの練習が聞こえてきます。年度の終わりが近づくこの季節は、うれしさと寂しさが同時に訪れる、特別な時間です。

先日の朝礼でも生徒のみなさんに話しましたが、用賀中には代々受け継がれてきた、大切な言葉があります。

「人の心の痛みが分かる人間になろう」。前任の草開校長先生から引き継いだこの言葉を、私は本校の宝物だと感じています。うれしいことに、この言葉は生徒の中にも息づいています。三年生の面接練習で「用賀中はどんな学校ですか」と尋ねると、「人の心の痛みが分かる人間になろう」という言葉を大事にしている学校です」と自分の言葉で語る生徒がいます。学校の願いが、生徒自身の言葉として語られることに、あたたかな誇りを覚えます。

では、「人の心の痛みが分かる人間になろう」とは、具体的にどんな姿でしょうか。中学校生活には、授業、運動会、合唱コンクール、委員会活動、部活動など、人と関わる場面が数多くあります。そこでの経験こそが、この言葉を“行動”に変えていきます。心の分かる人になるために、日々意識したい三つの努力を紹介します。

一つ目は、自分の心と向き合うことです。運動会などで、仲間の声援に背中を押され、思っていた以上の力が出せた瞬間があります。達成感や感謝の気持ちを丁寧に振り返ると、「どんな声かけが力になったのか」が分かります。自分が救われた言葉を知っている人は、次に誰かを支える言葉を選べるようになります。自己理解は、思いやりの出発点です。

二つ目は、多様な人と関わることです。合唱コンクールでは、得意な人もいれば、恥ずかしさが先に立つ人もいます。役割も感じ方も違うからこそ、支え合いが生まれます。隣で一緒に口の形を確認する、伴奏者や指揮者の準備を手伝う、練習の空気を明るくする—小さな工夫が積み重なって、本番で歌声が一つになったとき、「みんな違うから強くなれた」と実感できる成功体験になります。違いに出会うことは、相手の立場を想像する力を育てます。

三つ目は、人の話をよく聞くことです。授業や学級活動で、結論を急がず「もう少し聞かせて」と受け止めて返すだけで、話し手は安心します。「最後まで聞いてもらえた」経験は、次の一步の勇気になります。聞くことは、相手を尊重する分かりやすい行動であり、学級や学年の空気を温める力になります。

そして、学校とはまさに、こうした人とのふれあいを通して学んでいく場所です。うまくいった経験も、力を合わせてやり切った達成感も、思いが通じてうれしかった瞬間も、すべてが人を育てます。用賀中が行事や日々の生徒の活動を大事にしているのは、そこにこそ「人の心の痛みが分かる人間になろう」という言葉が生きる確かな学びがあるからです。

もうすぐ巣立っていく三年生のみなさん、卒業式を目の前にして、いまどんな思いで毎日を過ごしているでしょうか。この言葉は、卒業期にぜひ最後まで覚えてほしい言葉であり、卒業してからも、これから先も大事にしてほしい言葉の一つです。新しい環境では、出会いも増えますが、不安や戸惑いを抱える場面もあるでしょう。そんなときこそ、「今、相手はどんな気持ちだろう」「自分はどんな言葉をかけられたら力になるだろう」と一呼吸おいて考えてみてください。用賀中で培った思いやりは、きっと誰かの支えになり、同時に自分自身を支える力にもなります。

同時に、一・二年生のみなさんにも、新しい学年へ進む節目に、改めて心に刻んでほしいと思います。役割や責任が大きくなるほど、関わる人も場面も増えていきます。迷ったときは、「人の心の痛みが分かる人間になろう」という合言葉に立ち返り、教室や学年の中で、自分にできる小さな行動を重ねてください。その一つ一つが、用賀中の温かさを次の学年へとつないでいきます。

用賀中はこれからも、「人の心の痛みが分かる人間になろう」という言葉を大切に、そんな生徒を育てる学校であり続けます。

大切な生徒のみなさんへ！
 たった一言が人の心を傷つける
 たった一言が人の心を温める
 用賀中学校生活指導モットー
 「人の心の痛みが分かる人間になろう」を実践するために

大切な生徒のみなさんへ！
 あいさつはいつも元気にさわやかに
 つたわる気持ちやさしい心
 用賀中学校生活指導モットー
 「人の心の痛みが分かる人間になろう」を実践するために

2月18日	<p>将来の目標・進路について 変わったな、と思う。友達にも感謝だね。 私は今、将来の夢を持っていません。だからこの大学に行き自分のやりたいことを見つけたんです。先んじて高校生に行き、一年生のうちから学習習慣をつけたり、高校受験をある程度見つけた、自分の改善すべき点を、生かして後悔しないような生活を送ることを目標としたいと思います。</p> <p>まずは、目の前のことを頑張る。楽しむこともたくさん大事だね。 これからの3年間をどう過ごすかは、大抵自分が決める。頑張れ!</p>
2月18日	<p>将来の目標・進路について 自分に、して将来にしたい職業は具体的には決まていないが、とにかく自分が幸せ、最高だと思えるような生活をしたいです。 また、将来の夢を見つけるために高校でたくさんの新しいことに挑戦していきたいです。</p> <p>自分が幸せになるために、今の人のつながりにも感謝、進歩先への人間関係もたくさん大切で、挑戦もたくさんしたい。頑張れ!</p>
2月18日	<p>将来の目標・進路について 自分の人間関係を築いていくことも重要だよ。 以前までは、将来医者になりたいと思っていました。しかし、受験を体験したり、年を重ねるごとにその大きな夢の難しさを実感するようになった。そこで医療機器の開発に興味をもつようになった。自分の入の役に立ちたいという思いは変わらないので、直接ではなくても医療に関わりたい。自分は特に美容に興味があるが、その好きなことを生かせるように、毎日毎日大切に過ごしていくことも重要だと思う。高校受験や経験した後悔を繰り返さないように、全力で物事に取り組んでいきたい。</p>
3月11日	<p>この一年間での成長 自分の中で上手にかなったと思うこともあっても、しれなげに挫折や失敗を経験した人にしかかなったこともあつと思うな。人への優しさを、心で苦しんでいる人を助けてあげて。</p>
2月18日	<p>将来の目標・進路について 力加がどこのことかは不明だが、もし人柄も素敵だよ。 高校受験も終わり、残すは結果を待つだけになりました。どの高校に行くかまだ自分から言いたくないけど、どの高校に行く、でも目標は変えずに、頑張りたいと思います。第一志望に行けても、行けなくても最後卒業する日までにこの学校で良かったと思えるようにしたいです。</p>
	<p>この一年間での成長 言う通り、どこに行ってもそこは変わらな。どこに行くか、F)「行くと弱み」の方が大事だよ。どこに行っても大丈夫、頑張れ!</p>

生徒一人一人は、心の中に強い思いや温かさをみんな持っています。ただ思春期で発達途上にある今、普段はなかなか表現できずにいます。また情報技術の発達により、言葉等の発信は増えたものの、本当に心で思った純粋な言葉になかなか辿り着けずにいます。そんな今だからこそ、みんなでそろって自己と向き合い、思いに浸り、書く時間、空間はとても貴重なものだと感じます。ご家庭でも、話題にしていただければありがたいです。

「キュビナ」でチャレンジしました。

「キュビナ」とは世田谷区教育委員会が区立小中学校に導入しているAI型教材です。生徒一人ひとりの習熟度に合わせて最適な問題を出題する教材であることが特徴です。「Qubena (キュビナ)」の語源・名前の由来は、AIが自動で問題のルート(道筋)を選んでいく仕組みであることから、AIが学習のルートを繋ぐ、あるいは空間(Cube)を探索するようなイメージ、または「きゅ(急)に勉強ができるようになる」といった洒落めいた一説もあるようです。面白いですね。

この「キュビナ」を積極的に活用して、本校では12月から1月末までの期間に1,2年生で「キュビナチャレンジ」と称した取組を行いました。国語、社会、数学、理科、英語の5教科でそれぞれ50問ずつを出題し、これに対して「全て取り組み、全問正解した」生徒を全校朝礼で表彰しました。

普段の授業や学習、各教科の学習内容がやはり教育活動の中心でありますので、この表彰には用賀中学校として大きな価値を置いています。

賞状を手に入れた生徒はキャリア・パスポートに入れていますので、学年末に持ち帰った際に確認していただき、ご家庭でも認め、励ましていただければ幸いです。

表彰者(敬称略)

K. S K. T T. A N. K
 H. N Y. S S. K
 K. K N. Y Y. R W. N
 S. N T. U

U. H O. R S. K S. K
 T. E N. Y N. M
 U. S K. H S. Y Y. N
 K. H S. S M. K

また3月はじめより、「学年末キュビナチャレンジ」と称してあらたに5教科、各50問の配信を予定しています。これは今の学年の内容が網羅されており、学年末や新学年の初旬に取り組むのに最適な内容となっています。また学年末考査後、次に定期考査があるのが新学年の6月ですので、それまでの間も「学びに向かう力」をはたらかせ続けられるようにと意図して、もちろん今回も表彰を用意しております。「日常の学びの継続」は今も、大人になってからも人生で一番大切なことです。ご家庭でも共に、生徒達を応援していただきますよう、よろしく願いいたします。

令和7年度 第36回世田谷区立 中学校百人一首大会 準優勝です!

令和8年2月28日(土)に開催されました。
18校が参加し、本校が準優勝となりました。
選手と写真を紹介いたします。

選手(敬称略)

K. Y F. M



新入生に「生徒が主人公である学校」を、
掲示で知らせてみませんか?



作品投稿ありがとう!! - フォームに記入する

上の2作品は生成AIを活用して松下先生が作成したものです。生徒やご家庭のみならず、新入生が来る4月に向け、明るく整う掲示制作、してみませんか?

作品投稿ありがとう!!

